

計画時・実績時の効果検証
～「林野公共事業における事前評価マニュアル」～

事業の便益
の評価額と
総費用の比
を算定評価

- 洪水防止便益
 - ・雨水の河川に流れ込む量を整備の前後で推定し、治水ダムの機能に置き換えて評価
 - ・ダムの減価償却費から貨幣価値換算勘案
- 水質浄化便益
 - ・森林の貯留量を推定し、水道代金又は雨水浄化費用で貨幣価値換算
- 流域貯水便益
 - ・森林土壌内に浸透する雨量を整備の前後で推定し、利水ダムの機能に置き換えて評価
 - ・ダムの減価償却費から貨幣価値換算
- 土砂流出防止便益
 - ・雨水の流下に伴う表土の年間流出量の差を推定し、砂防ダムの機能に置き換えて評価
 - ・砂防ダムの建設コストから貨幣価値換算

森林整備に
要する費用

事業実施箇所のモニタリング
～「森の通信簿」～

事業実施前
後の森林の
状態を「通信
簿」のように
数値評価

<項目>

<方法>

- ① 林内の光環境
 - ・上部の隙間の状況など
- ② 林床の被覆状況
 - ・林内の草の生育状況など
- ③ 土壌の状況
 - ・落ち葉の腐食状況など
- ④ 生物多様性
 - ・植物、鳥類、昆虫類の状況など

実施時期	対象林	調査者	内容	摘要
施業前	地域ごとに代表的事業地を抽出	事業主体	①②③④	現場管理として実施
施業後	〃	事業主体	①	現場管理として実施
完了確認	〃	農林事務所 (市町村)	①(②③④)	確認項目として実施
3年後 5年後	〃	森林技術師 など	①②③④	報償費等を検討